

## どようサロン

毎月、第1、第3土曜日の午後になると、水戸市国際交流センター2階の交流サロンに、いろいろな国の人々が集まってきます。みんな、談笑したり、お菓子を食べたり、ふるさとに電話をしたり、自由に時を過ごしています。



国籍を問わない自由な交流の場、それが「どようサロン」です。参加者は次第に増え、今では、さまざまな国の人々が集う、賑やかな光景が見られるようになりました。

「どようサロン」では、「ふるさと電話」と呼ばれる国際電話サービスを提供しています。この利用者も、今では順番待ちが出るほどになりました。

参加している外国人にサロンについて聞いてみると、「普段なかなか会えない友人に会えるのがうれしい」「同じような悩みを抱えている外国人同士で話せるのがいい」「ふるさとにちょくちょく電話が出来て、家族の声が聞けるので、元気が出る」と嬉しい反応がありました。また、日本人の参加者からは、「いろいろな国の人と一度に会えるので楽しい」「決められたテーマを話し合うのもいいけれど、自由に話していると、その人の国のことが自然に会話に出てきてよくわかる」といった声が寄せられています。

「どようサロン」は、誰でも気軽に参加できる国際交流の場です。

「国際交流って何をすればいいのだろう？」とお思いの方は、是非、第1、第3土曜日の午後、水戸市国際交流センターへ、足を運んでみてください。



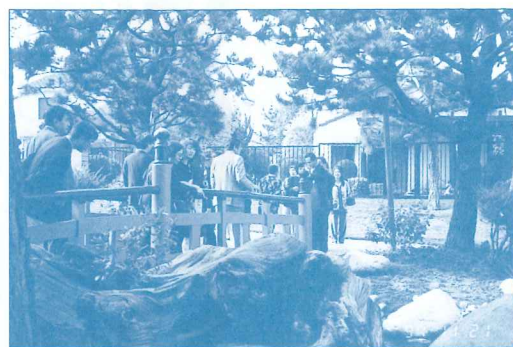
# Mitsuo Asahi City Activity

## 水戸市の姉妹都市 アナハイムってどんなところ？

アメリカ合衆国カリフォルニア州アナハイム市。ディズニーランドのある南国の街と水戸市とが姉妹都市になって、24年になります。この機関紙でも、度々、両市の訪問団の様子をお伝えしてきました。今回は、この姉妹都市がどのようなところか、ご紹介します。

### 交流のはじまり

きっかけは、1974年、水戸市出身の1人の実業家が、自分の恩師をアナハイム市へと招待したことでした。1975年、水戸市から教育視察団が渡米し、両市の文化交流が始まったので



交流のシンボル「水戸橋」

す。翌年、アナハイム市から訪問団が来水。暮れには、姉妹都市協定締結が議決され、水戸市から調印式使節団が渡米し、盟約を交しました。

その後、両市の交流を記念して、アナハイム市内に「水戸橋」や「ミト・スクエア」、水戸市内に「アナハイム通り」が作られました。また、両市の高校生・大学生も親善大使として交流の場で活躍しています。

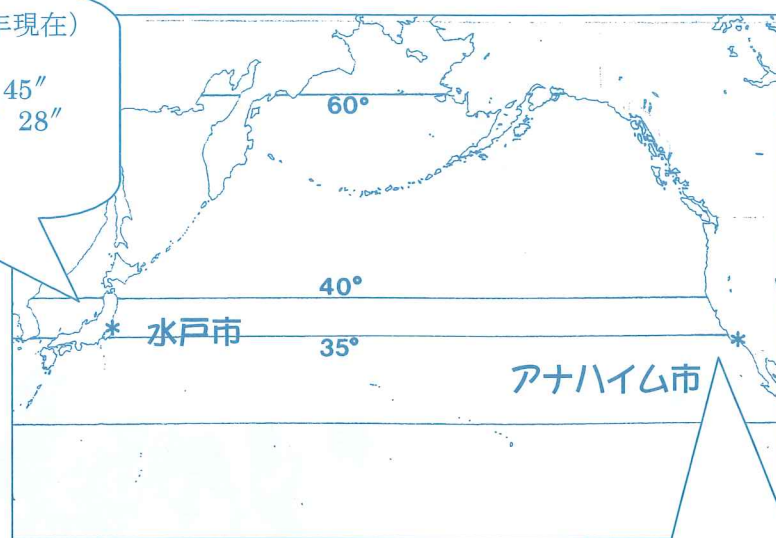
### 両市の概要

2つの市を簡単に比べてみましょう。

人口：247,888人（2000年現在）  
面積：175.9km<sup>2</sup>  
緯度・経度：北緯36° 21' 45"  
東経140° 28' 28"  
平均気温：13.2℃  
年間降水量：1,308mm

同じくらいの緯度ですが、アナハイム市は典型的な地中海性気候のため、水戸市とは、気温、降水量ともに随分違っています。

一方、姉妹都市盟約締結の1975年当時の人口は、共に20万人弱。水戸市の面積は、約146km<sup>2</sup>で、よく似た規模の都市でした。



人口：306,298人（1999年現在）  
面積：128.7km<sup>2</sup>  
緯度・経度：北緯33° 49' 58"  
西経117° 54' 57"  
平均気温：21℃  
年間降水量：249mm



アナハイム市章

### アナハイム市とは……

人口30万人あまり、今ではカリフォルニア州で10番目に大きなこの都市は、19世紀半ばに、ドイツ人の入植者たちがブドウ栽培の基地としてつくった町でした。当時の人口は、わずか1,000人足らず。20世紀半ばになっても、まだ人口1万5千人余りの小さな町でした。これが、今の大きな街に変化したきっかけは、ウォルト・ディズニーの夢の国「ディズニーランド」が1955年7月に開園したこと。1年中楽しめるこのアトラクションパークは、全米からの人の流れを生み、人口の爆発的な増加につながったのです。以来、現在でも、市の人口の多くがディズニー関連の職業に従事し、また、多くの産業がディズニーに関連しています。

アナハイム市は面積こそ小さな街ですが、収入面では他の都市を大きく上回り、さまざまな施設が整備されています。メジャーリーグの「アナハイム・エンジェルス」のホームスタジアムである「エジソン・フィールド」や、アイスホッケーの「マイティダックス」のホームリンクがあります。コンベンションセンターでは、全世界規模の大きなイベントが次々と開催され、アナハイム市はラスベガス市と並ぶイベント都市になっています。



マイティダックスのホームリンク。右はキャラクターの像。



市議会議場の様子

また、アナハイム市は、全米でも非常に治安がよく、福祉の質の高さも際立っています。自分たちの都市に対する市民の関心も、非常に高く、議会の傍聴席は常に人で溢れています。

アナハイム市の発展は今も続いています。例えば、コンベンションセンターの改築や、ディズニーグループの新パークの建設がオープンに向けて進められています。

アナハイム市のホームページ内では、水戸市とアナハイム市を「規模も人口も非常に良く似ており、どちらも有名な公園を持つ観光都市である」と紹介しています。（アナハイム市のホームページのアドレスは、<http://www.anaheim.net/>です。水戸市国際交流協会ホームページからもリンクしています）。また、両市の交流の歴史は、国際交流センター2階の展示コーナーで、さまざまな記念品とともに詳しく紹介されています。

2つの都市は、次々と新しい歴史を刻み続けています。その様子を、みなさんも、ぜひ一度ご覧ください。

## 水戸市国際交流センターへ行こう。

水戸市国際交流センターが開館したのは、1998年の4月。以来、2年弱の間に、多くの利用者がセンターを訪れました。利用者は1年間で4万5千人を超え、利用率も着実に上がっています。「国際交流」の関係者はもとより、一般の方にも好評です。

水戸市国際交流センターは大きく2つの部分から成っています。1つは、2階を中心としたスペースで、誰でも、いつでも、自由に利用できます。「どようサロン」の開催場所である交流サロンの他に、書籍・ビデオを揃えた情報コーナーや、展示コーナーがあります。展示コーナーには、各国の簡単な挨拶を紹介したブースもあって、子供たちにも人気です。また、情報コーナー内に設置されているコンピュータは誰でも利用することが出来ます。もう1つは、3階の研修室や、多目的ホールなど、利用希望に応じて貸している部屋です。さまざまなグループの研修会や、パーティーなどに利用されてきました。もちろん、国際交流以外の目的でも利用することが出来ます。

開館時間は、午前9時から午後9時まで。休館日は、毎月曜日と祝日です。詳しい利用方法は、当センターまで気軽にお問い合わせください。

## インフォメーション

### 『CITY MAP MITO』及び

### 『水戸の生活ガイドブック』

英文版水戸市地図『CITY MAP MITO』及び『水戸の生活ガイドブック（日英併記）』を、差し上げております（緊急時の対応など、外国人の水戸での生活に役立つ情報が満載です）。無料ですので、欲しい方は当協会までご連絡ください。

### 相談受付

相談者は外国人、日本人を問いません。秘密厳守で応じています。直接センター事務室へ、またはお電話でどうぞ。

### 水戸市国際交流協会

#### インターネットホームページ

水戸市国際交流協会のホームページを開設しています。皆さまのアクセスをお待ちしています。

(アドレス：<http://www.mitoic.or.jp/>)

### インターネット利用サービス

センター2Fにコンピュータを設置しています。インターネット体験、コンピュータのワープロ・ソフト、表計算ソフトの利用など、いずれも30分100円でご利用いただけます。

### 水戸市国際交流センター内の 日本語教室について

現在開催されている日本語教室です。

火	PM 6:30- 8:00	オルビス
水	AM10:00-12:00	フレンドリーネバーフット 日本語クラブ
	PM 6:30- 8:00	オルビス
木	AM10:00-12:00	ソフィア
金	AM10:00-12:00	メサ・フレンドシップ
土	AM10:00-12:00	ラブニール

詳しくは、当センターにお問い合わせください。

〒310-0024 水戸市備前町 6-59

水戸市国際交流センター内  
(財) 水戸市国際交流協会

Tel : 029-221-1800 Fax : 029-221-5793

E-mail : [mcia@mito.ne.jp](mailto:mcia@mito.ne.jp)

